

STAGE+を楽しむ(292)(HP 収載)
—シフのフランス組曲とイタリア協奏曲—

1. 始めに

前報(291)に引き続き、STAGE+のシフのフランス組曲とイタリア協奏曲の演奏の試聴を実施します。

2. 試聴音源

今回は、STAGE+のシフのフランス組曲とイタリア協奏曲の演奏を選びました。

シフが弾くフランス組曲とイタリア協奏曲

バッハ・フェスティバル 2010

収録日: 2010年6月11日

アンドラーシュ・シフにとって、バッハは「ヨーロッパ音楽史の頂点」を体現する存在です。バッハがトーマス教会の宮廷楽長として長く活躍したライプツィヒで2010年に開催されたバッハ音楽祭での演奏が示すように、シフの音楽づくりはバッハでこそ最大限に生かされます。1722年から1724年にかけて作曲された6曲のフランス組曲は、息をのむような作曲技術と舞踏のような優美さを併せ持つ作品です。最後に、1735年に発表された「フランス風序曲」と「イタリア協奏曲」を演奏します。

ソリスト:

アンドラーシュ・シフ (ピアノ)

曲目:

ヨハン・セバスティアン・バッハ

フランス組曲第1番ニ短調 BWV 812

フランス組曲第2番ハ短調 BWV 813

フランス組曲第3番ロ短調 BWV 814

フランス組曲第4番変ホ長調 BWV 815

フランス組曲第5番ト長調 BWV 816

フランス組曲第6番ホ長調 BWV 817

フランス風序曲ロ短調 BWV 831

イタリア協奏曲ヘ長調 BWV 971



3. 試聴の経過

前回は引き続き、これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツも使用しています。さらに、スピーカーアキュライザーのマイナス端子への **Crystal EpY-G** の接続を継続し、PC の仮想アース **Crystal E Jtune** を連結しています。

また、ルーター→スイッチングハブ間の LAN 接続に **OPT ISO BOX** を適用し、**OPT ISO BOX** の AC アダプターの DC ケーブルに **FX Audio** の **Petit Susie Solid State** を介在させてスイッチング電源からのノイズの低減を図っています。

さらに今回から、スイッチングハブ→PC 間 LAN 接続には **OPT ISO BOX** に代って適用した **LAN iPurifier Pro** の電源を **iPowe2** に交換しています。

今回は、PC の受信から **GPS-777** クロック入力の **SWD-DA20** に送り出しています。

PC は第 8 世代 **W10** 機ですが、今回は、**W11** に **upgrade** した最初の **STAGE+** の再生で、問題なく受信できています。

ライブツィヒで例年開催されるバッハ音楽祭の 2010 年の演奏で、教会での収録です。演奏曲はすべてお馴染みの曲ですが、フランス組曲とフランス風序曲は優雅な表情で、イタリア協奏曲は明るく軽快です。

シフが、地味ながらクリーンな音でバッハの崇高な精神性を表現しています。



4. まとめ

これまでに実施してきた対策に加えて、アースアキュライザーの活用(6)で報告しましたようにアースの再構成を実施し、AV ドーナッツや Crystal EpY-G や PC の仮想アース Crystal E Jtune を連結し、LAN 接続に OPT ISO BOX と電源交換した LAN iPurifier Pro を適用した結果、クリーンな音でバッハの崇高な精神性を表現していることが分りました。

以上